

ΨΗΛΑ ΣΤΗΝ ΚΟΣΤΙΛΑΤΑ

いほゆ3 Kostilata

79の5.に23

ψηλά στην Κοστιλάτα βόσκουν τὰ πρόβατα
psila stin gostilata vskun da pròvata

χορεύουν τὰ Κορίτσια με τ'άσμοζώναρα.
xorevun da koritsia me tazmozónara

// Πῶ πῶ πῶ πῶ ποῖα νᾶν' αὐτὴ με τὸ γαρύφαλο στ' αὐτί.//
pō pō pō pō poia nānauti me to garifalo st' auti

ポシラ スティン ゴスチラタ ウァスクン ダ'プロヴァタ
コホレヴン ダ'コリトシヤ X タズモゾナラ

// ホ・ホ・ホ・ホ・ヒョア ナナウティ X ト グアリファロ スタウティ //

Denéよりかりた ΕΛΛΗΝΙΚΟΙ ΧΟΡΟΙ (エリ=キホリ,ギリシヤの踊りの本)による。
これにのこしたキョと, ELLINIKI HORI のレポートにλ, ゼい子キョと歌がちがう,
共通しているのは, この一番だけだったのぞ, こねのみせました。また, どういうわけ
かアクセント法則が Teach Yourself Modern Greekとちがい, この場合は「'」を
無アクセント, 「'」, 「~」をアクセントとみなすべきでは。

- 応: 訳してみました, 実力不足のため信用できません。

「コスティラタの高原では, 羊は草を食い, 乙女らは輻にならうたり踊る。

おお, 未婚の娘はね, 耳のこりにカーネーションをつけているのよ。」

本当に,ギリシヤに Kostilata という地名があると, けっさ信用できませんか。こねか人名たたり
すると, またく訳がちがうとします。発音の方の問題にしている ευ についても,
こねの χορεύουν では, ちがいに[ευ]にきこえる。[v]は[f]のちがいに[lv]の
ようでもあり, 母音が子音がよくわかつた。[xorevun], [xoreún]と発音
しているようでもある。アクセントの位置は, こねで正しいはず, というのは, 母音の
文字(こねが母音で発音されるかどうかは別として)が二連続の場合, 二目にアクセント
記号をつけるのが規則であるので。[xorevún] [xoreún]とはなすたい。

χορεύουν は χορεύω (dance) の三称・複数(直説法現在)
主語 τὰ Κορίτσια (女性・主格・複数 girls, virgins), じたいかと意味がさみじく τὰ πρόβατα (羊)
が主語とは考えられたい。少なくと私に。カーネーションをつけて踊っている羊に興味はない。